

〔薬局調剤〕

10 調剤行為の状況

1件当たり点数は 1,012.2 点で、前年に比べ 11.8 点、1.2%増加している。

処方せんの受付1回当たり点数は 731.4 点で、前年に比べ 20.8 点、2.9%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」532.8 点が最も高く、次いで「調剤技術料」162.1 点、「薬学管理料」35.4 点となっている。

1件当たり受付回数は1.38 回で、前年に比べ0.02 回減少している。(表12、図14)

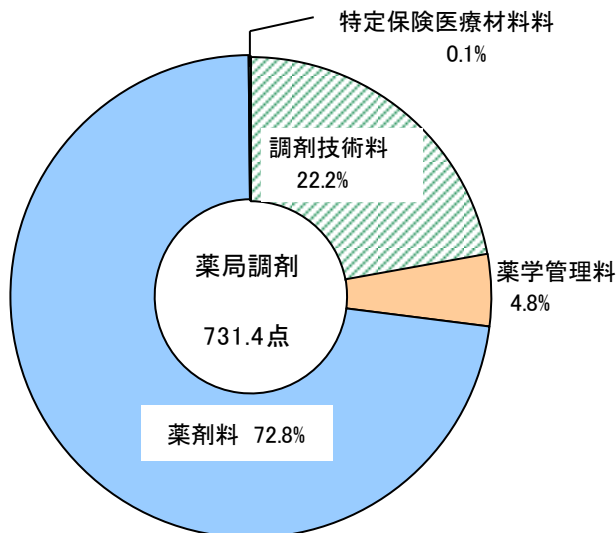
表12 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調 剤 行 為	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年	
			増減点数	増減率(%)
<b>1 件 当 た り 点 数</b>				
総 数	1 012.2	1 000.4	11.8	1.2
調 剤 技 術 料	224.3	216.7	7.6	3.5
薬 学 管 理 料	49.0	52.5	△ 3.5	△ 6.7
薬 剤 料	737.4	729.6	7.7	1.1
特定保険医療材料料	1.5	1.5	0.0	2.9
<b>受 付 1 回 当 た り 点 数</b>				
総 数	731.4	710.5	20.8	2.9
調 剤 技 術 料	162.1	153.9	8.2	5.3
薬 学 管 理 料	35.4	37.3	△ 1.9	△ 5.1
薬 剤 料	532.8	518.2	14.5	2.8
特定保険医療材料料	1.1	1.0	0.0	4.6
<b>1 件 当 た り 受 付 回 数</b>				
	1.38	1.41		

図14 調剤行為別にみた受付1回当たり点数の構成割合

(平成20年6月審査分)



## 1.1 一般医療と長寿医療別にみた調剤行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 875.5 点、長寿医療 1,424.9 点、受付1回当たり点数は、一般医療 655.5 点、長寿医療 931.2 点となっており、いずれも長寿医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、「薬剤料」の割合が一般医療 71.4 %、長寿医療 75.6 %となっている。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて1件当たり点数、受付1回当たり点数ともに高くなっている。(表13、図15・16)

表13 一般医療 - 長寿医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	総数	一般医療	長寿医療	年齢階級				
				0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
1 件 当 たり 点 数								
総 数	1 012.2	875.5	1 424.9	515.5	636.6	982.9	1 185.3	1 404.0
調 剤 技 術 料	224.3	200.9	295.2	187.6	167.0	203.8	236.0	293.1
薬 学 管 理 料	49.0	48.5	50.3	56.9	44.4	45.9	49.8	49.9
薬 劑 料	737.4	624.8	1 077.0	270.2	424.7	731.4	898.0	1 058.7
特定保険医療材料料	1.5	1.3	2.2	0.7	0.4	1.8	1.5	2.2
受 付 1 回 当 たり 点 数								
総 数	731.4	655.5	931.2	353.8	506.5	756.8	861.8	921.9
調 剤 技 術 料	162.1	150.4	193.0	128.7	132.9	156.9	171.6	192.4
薬 学 管 理 料	35.4	36.3	32.9	39.1	35.4	35.3	36.2	32.8
薬 劑 料	532.8	467.8	703.9	185.5	337.9	563.2	652.9	695.1
特定保険医療材料料	1.1	0.9	1.5	0.5	0.3	1.4	1.1	1.5
1 件 当 たり 受 付 回 数								
	1.38	1.34	1.53	1.46	1.26	1.30	1.38	1.52

図15 一般医療 - 長寿医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合 (平成20年6月審査分)

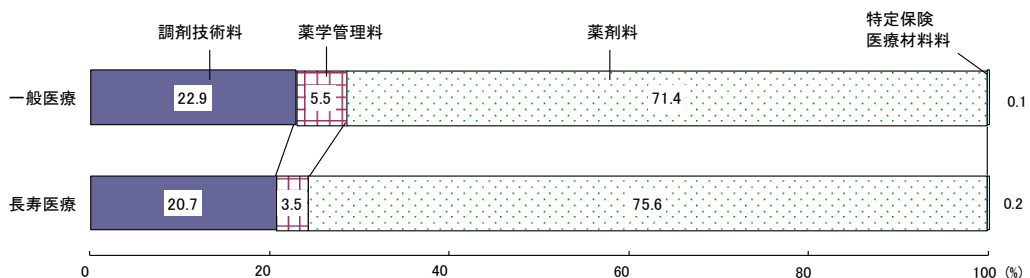
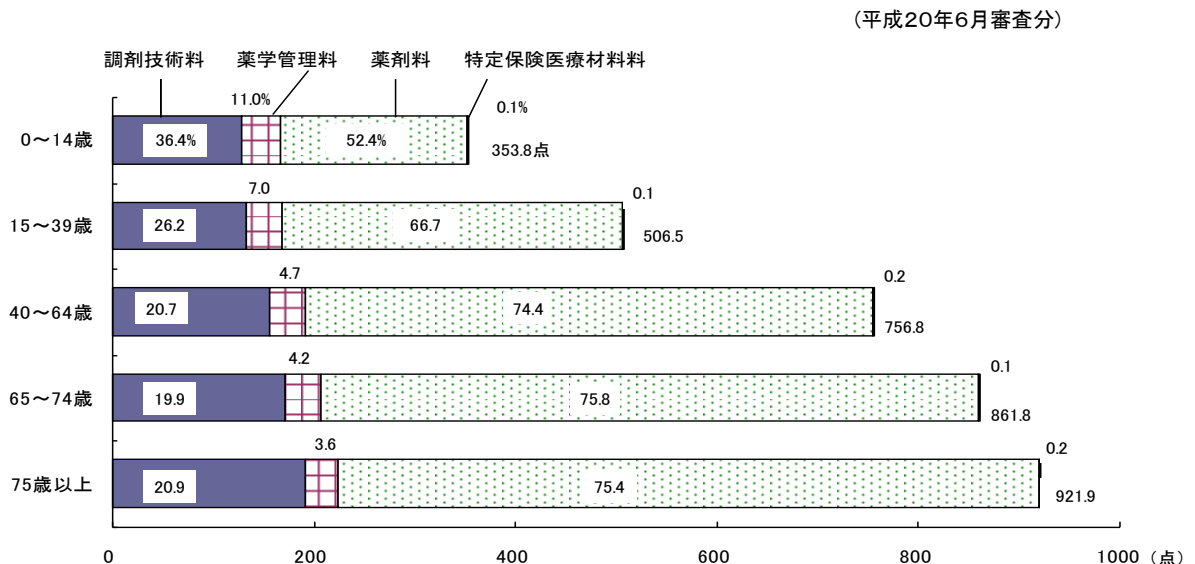


図16 年齢階級別にみた調剤行為別受付1回当たり点数 (平成20年6月審査分)



## II 薬剤の使用状況

### 1 薬剤料の比率

医科総点数に薬局調剤分を合算して求めた薬剤料の割合は、総数 29.0%、入院 11.1%、入院外 36.2%となっており、そのうち、「投薬」及び「注射」で使用された薬剤料の割合は、それぞれ、27.3%、9.4%、34.4%となっている。

前年と比較すると、医科総点数に薬局調剤分を合算して求めた薬剤料の割合は、総数では 0.3 ポイント、入院では 0.03 ポイント、入院外では 0.4 ポイント低下している。(表14、図17)

表14 入院 - 入院外別にみた医科（薬局調剤分を含む）の薬剤料の比率の年次推移

(単位:%) (各年6月審査分)

		平成16年 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)	
医 科  ( 薬 局 調 剤 分 を 含 む )	<b>総 数</b>						
	薬剤料	27.5	28.7	28.6	29.3	29.0	
	投薬・注射	25.3	26.8	26.9	27.6	27.3	
	投薬	20.7	21.7	22.5	23.0	22.8	
	注射	4.6	5.1	4.4	4.6	4.5	
	その他	2.2	1.9	1.7	1.8	1.7	
	<b>入 院</b>						
	薬剤料	11.3	12.3	11.2	11.1	11.1	
	投薬・注射	9.4	10.4	9.4	9.4	9.4	
	投薬	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	
	注射	6.9	7.9	6.9	6.8	6.8	
	その他	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	
	<b>入 院 外</b>						
	薬剤料	35.8	37.0	36.6	36.6	36.2	
	投薬・注射	33.5	35.1	34.9	34.9	34.4	
投薬	30.1	31.5	31.6	31.1	30.9		
注射	3.4	3.6	3.3	3.7	3.6		
その他	2.3	1.9	1.7	1.8	1.8		

- 注：1) 「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCに係る明細書は除外してある。  
 2) 薬局調剤分（調剤報酬明細書分）は、処方せん発行医療機関により総点数、薬剤料を合算している。  
 3) 薬局調剤分（調剤報酬明細書分）の内服薬及び外用薬を「投薬」に、注射薬を「注射」に合算している。  
 4) 「薬剤料」とは、総点数に占める、「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。  
 5) 「その他」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。  
 6) 入院時食事療養費等(円)は、点数換算(入院時食事療養費等÷10)して総点数に含めている。  
 7) 医科一歯科一薬局調剤別にみた薬剤料の比率は、統計表第15表に掲載している。

図17 入院 - 入院外別にみた医科（薬局調剤分を含む）の薬剤料の比率の年次推移

(各年6月審査分)

